

『小さき声のカノン』上映会

主催/真宗大谷派桑名別院本統寺

東日本大震災による福島第1原発のメルトダウンによって、私たちは放射能の恐ろしさといかに原発が危険と隣り合わせであるということ、ありありと見せつけられました。

しかしながら、震災から6年の月日が経過し、全国各地で続々と原発が再稼働する一方で、福島や原発に関する報道は日に日に見聞きすることが少なくなっているのが現状です。

今回、映像作家の鎌仲ひとみ氏の『小さき声のカノン』という映画を通して、原発とともにある、今の私たちの生活と、原発に依存しない、その先のある私たちの生活というものをいっしょに考えてみませんか。

なお、鎌仲ひとみ氏には、本年度、第51回桑名別院暁天講座【7月19日(水)】のご講師の一人として講演をいただく予定となっています。ぜひ、上映会と合わせてご参加ください。

○日時 **2017年7月11日(火)**

第1回上映 午後2時より 第2回上映 午後6時より

○場所 桑名別院 間光殿(桑名市北寺町47)

○参加費 500円

○内容 『小さき声のカノン』上映会(上映時間 119分)

鎌仲ひとみ氏 プロフィール

映像作家。早稲田大学卒業と同時に映画制作の現場へ。フリーの映像作家として、NHKで「エンデの遺言 一根源からお金を問う」などテレビ番組を多数監督。イラク取材をきっかけにドキュメンタリー映画制作を本格開始。「ヒバクチャー世界の終わりに」(2003)、「六ヶ所村ラプソディー」(2006)、「ミツバチの羽音と地球の回転」(2010)の核を巡る3部作は累計3,000カ所以上で上映。2015年「小さき声のカノン」を劇場公開。日本のみならずドイツ、イタリア、アメリカなど世界11カ国にも上映が広がっている。

現在は国内外での講演や、学びを深める連続講座を主催、映像制作発信を続けている。

2011年度全国映連賞・監督賞受賞。多摩美術大学非常勤講師。



裏面に映画のご案内がありますのでご覧ください →

♪「六ヶ所村ラブソディー」「ミツバチの羽音と地球の回転」の鎌仲ひとみ監督最新作!

小さき声のキャン

— 選択する人々

Little Voices from Fukushima

Directed by Hitomi Kamanaka

福島—チエルノブイリ
国境を越えて
「被ばく」から子どもを守る
母たちのドキュメンタリー

1986.3.26
Chernobyl
2011.3.11
Fukushima

希望は「フリスビー」

「保養」
ツタヒ?



監督 鎌仲ひとみ × 音楽 Shing02 × 製作 ぶんぶんフィルムズ
www.kamanaka.com/canon 2014年 / カラー / デジタル / 119分 / 配給: ぶんぶんフィルムズ

○お問い合わせ 真宗大谷派桑名別院本統寺

桑名市北寺町47 ☎ (0594) - 22 - 0652 (担当 荒木)